



HÔTEL PLAZA ATHÉNÉE

オテル・プラザ・アテネ

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

<https://www.facebook.com/yasubiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリアが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。

これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。



筆者 小原 康裕

国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。

2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。

JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

<https://www.facebook.com/yasubiro.obara.16>

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。

多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



メインダイニング「Alain Ducasse au Plaza Athénée」。1万個のスワロフスキーのクリスタルがピアノ線で吊るされ、その煌びやかな光の洪水に圧倒される



Hotel Plaza Athénée

シャンゼリゼ大通りから分かれ、多くのラグジュアリーメゾンが連なるモンテーニュ通りを進むと、赤を基調とした瀟洒なホテルが見えてくる。鮮やかな赤色のゼラニウムが各部屋の窓辺に飾られ、如何にも女性好みのフェミニンな雰囲気の人気ホテルだ。2011年5月に最上位の格付け「PALACE」が制定され、パリで認定された僅か4軒のうちの一つがプラザ・アテネ「Hotel Plaza Athénée」であった。1913年の創業以来、王室をはじめ世界中にセレブリティの顧客を持つパラスホテルである。現在はムーリスと共に Dorchester Collection の旗艦ホテルとしてパリの象徴的な存在である。

ドアマンに案内され、華麗なエントランスホールを抜けると、ラ・ギャラリー「La Galerie」の麗しき回廊ラウンジに目を奪われる。もう一つ忘れてはならないのは、アラン・デュカス率いる3ツ星レストラン「Alain Ducasse au Plaza Athénée」だ。レストランの正面エントランスから眩い光のオーラが発せられる。中に入ると1万個のスワロフスキーのクリスタルがピアノノ線で吊るされ、その煌びやかな光の洪水に圧倒される。デザイナーのパトリック・ジュアンと建築家のサンジット・マンクによるエージェント「Agence Jouin Manku」による創作で、彼らの手によりダイニングは2度目の改装を経て、降り注ぐ光の雨を思わせるシャンデリアと共に2014年に再始動した。

プラザ・アテネは154の客室と54のスイートを擁して瀟洒な姿で佇んでいる。今回はルイ16世様式のクラシカルな「Prestige Suite」を紹介したい。約80㎡の広さでモンテーニュ通りを望むエレガントなスイートだ。メインダイニングは前述した「Alain Ducasse au Plaza Athénée」で、アラン・デュカスに任されたヘッドシェフ、Romain Mederが腕を振るう。セカンドダイニング「Le Relais Plaza」は、高級ブラッセリーといった趣のレストランだ。また、ホテルはラグジュアリーブランドの「Christian Dior」との縁が深いことでも有名で、ゴージャスなスパ施設「Dior Institut au Plaza Athénée」でディオールの神髄を堪能できる。

プラザ・アテネはファッション業界の顧客も多く、今でもプレタポルテとクチュールのショー期間は華やかな雰囲気館内に包まれる。「La Galerie」はAngelo Musaが創作するスイーツ類は大人気で、パリ在住の日本人マダムも多く見受けられる。女性に人気なホテルゆえ、人気ドラマ「Sex and the City」の最終話がこのプラザ・アテネで撮影された事は十分に納得できる。

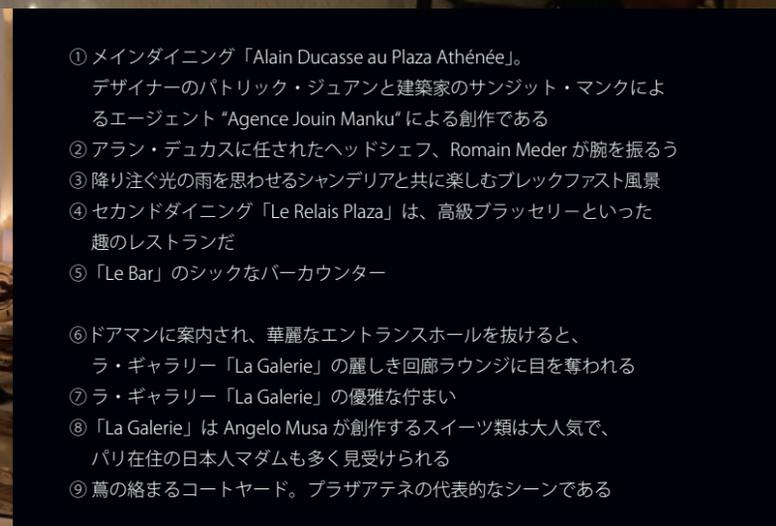


- ① 鮮やかな赤色のゼラニウムが各部屋の窓辺に飾られ、如何にも女性好みのフェミニンな雰囲気が人気のホテルだ
- ② 多くのラグジュアリーメゾンが連なるモンテーニュ通りに面した、華麗なエントランスホール
- ③ 夜間はライトアップされ、華麗な正面ファサードが浮かび上がる
- ④ ドアマンが常駐する正面エントランス
- ⑤ 赤のネクタイが印象的なコンシェルジュたち



- ① ルイ 16 世様式の装飾が美しい「Prestige Suite」のリビングルーム
- ② スパ施設「Dior Institut au Plaza Athénée」のエントランス
- ③ ホテルはラグジュアリーブランドの「Christian Dior」との縁が深いことでも有名だ
- ④ ゴージャスなディオールスパ内部
- ⑤ ここでディオールの神髄を堪能できる
- ⑥ 気品ある「Prestige Suite」のベッドルーム。
約 80㎡の広さでモンテーニュ通りを望むエレガントなスイートだ
- ⑦ 「Prestige Suite」のリビングルーム
- ⑧ 鮮やかな赤色のゼラニウムが各部屋の窓辺に飾られている
- ⑨ バスルームはイタリア・カララ産の総大理石が張られている





- ① メインダイニング「Alain Ducasse au Plaza Athénée」。デザイナーのパトリック・ジュアンと建築家のサンジット・マンクによるエージェント「Agence Jouin Manku」による創作である
- ② アラン・デュカスに任されたヘッドシェフ、Romain Meder が腕を振るう
- ③ 降り注ぐ光の雨を思わせるシャンデリアと共に楽しむブレイクファスト風景
- ④ セカンドダイニング「Le Relais Plaza」は、高級ブラッセリーといった趣のレストランだ
- ⑤ 「Le Bar」のシックなバーカウンター

- ⑥ ドアマンに案内され、華麗なエントランスホールを抜けると、ラ・ギャラリー「La Galerie」の麗しき回廊ラウンジに目を奪われる
- ⑦ ラ・ギャラリー「La Galerie」の優雅な佇まい
- ⑧ 「La Galerie」は Angelo Musa が創作するスイーツ類は大人気で、パリ在住の日本人マダムも多く見受けられる
- ⑨ 蔦の絡まるコートヤード。プラザアテネの代表的なシーンである

